

デイリー  
WATCH

WATCH-TOP

## (株)●●●～焦付発生で赤字に転落

コード	015	格付け	DD
本社所在地	東京都××区××…	業種	鋼材販売
代表者	△△△△		平成27年3月期
従業員数	××名	売上高	××××百万円
資本金	××百万円	利益	▲××百万円

非上場会社。

昭和××年に●×●×氏が設立した(株)○△が始まりで、××年に現会長・△△△△氏にバトンが渡され、現商号に変更して再スタートした。現代表は会長の子息で3代目。株式は会長×%、社長×%、●▲社×%で、事業所は××区の本社(賃貸)1ヶ所のみ。事業内容は鋼材販売100%で、××を主体とした条鋼が全体の7割を占め、鋼板、加工製品も取り扱っている。

バブル期には年商××億円を計上していたが、その後、建設不況により鋼材価格が下落し、売上規模は下降の一途を辿った。さらに公共工事の減少や震災が重なり、近年は受注はさらに減少している。平成×年3月期は、●△社の倒産で焦付が発生し、加えて株式の売却損の発生により、売上高は××億××万円、純損益▲×××万円と赤字に転落し、近年最低の数値となった。前期27年3月期は売上高×%増の××億××万円と増収に転じたものの、受注件数と単価が僅かに上がった程度であり、未だ受注競争に押された感は否めず、回復とは言い難い。経費削減に努め、純損益は▲×××万円と赤字幅は圧縮されたものの、前出の●△社の民事再生による弁済の特別利益×××万円が計上されたことが要因となっており、営業損益段階で▲×××万円と本業では依然欠損が続いている。

前期末時点で総資産××億×××万円に対し、現預金×億××万円。長短の借入はなく、自己資本比率30%強と財務状況は比較的安定しているが、前期末時点で手形割引高×億××万円を計上している。受注回復に加え、本業で黒字を確保することが先決だが、資材費に加え、人手不足による労務費の高騰が深刻な状況にあり、採算面でも苦戦が続くことが予想され、取り巻く環境は厳しいものとなっている。

業績	売上高	当期純利益 (単位:百万円)
25/3	×××	×
26/3	×××	▲××
27/3	×××	▲××

仕入先: ××社…  
販売先: △△社…  
取引銀行: ○△銀行

※ 上記企業の直接間接取材に基づく精査レポートは  
実費8,000円(消費税別途)でお分けいたします。

## ※会員契約事項

1. 情報提供内容については極秘扱いとし、閲覧の後は管理者が責任を持って処分する
2. 本情報は厳重に管理し、外部者への漏洩は厳禁とする
3. 本情報が外部に漏洩しトラブルが発生した時は、損害賠償の責を負って頂く場合があります。当社は本情報に対し、損害賠償の責を負いません。